

# まさよ通信

郡上市議会議員 田代 まさよ 2022年 7月 No.8

## 議会は市民の思いが反映される場所

日頃から防災対策を強化 コミュニケーションを大切に  
笑顔が見える支え合い お互いに見守り支える仕組み  
健康を守り応援するまち 健診・検診を推進

やる気!  
で行動  
元気!  
は取り柄  
勇気!  
を持って挑みます!!



6月の定例会が終了しました。今年は梅雨が例年より早く開け暑い夏が予想されます、電気料金の値上げなどもあります健康が第一です。暑い夏も元気に乗り越えましょう。また、郡上おどり・白鳥おどり・拝殿踊りも開催される予定です。猛威を振るった新型コロナウイルス感染症もようやく落ち着きを感じますが、油断することのないよう気を引き締めてウィズコロナ・アフターコロナを見据えてまいりましょう。

## 令和4年 第3回定例会報告 6月10日～7月1日（閉会は浴衣議会）

条例の一部改正、補正予算や財産の取得及び処分などの議案を含め14件

### 令和4年度補正予算

一部抜粋

### 1. コロナ禍における原油価格・物価高騰対応

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)

- 水道基本料金免除による公共料金の負担増への間接的支援と水道未契約世帯等への給付金支給
  - \* 水道基本料金3期分(1期2ヶ月)すなわち、6ヶ月分を免除
  - \* 水道未契約世帯等に対しても申請により3期分相当8,000円を給付
- 低所得のひとり親世帯等に2万円の給付金を支給(国の給付する5万円に上乘せ)
- 市立小中学校等における給食費物価高騰分に補填し子育て世帯を支援

### 2. 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業

\* 住民税非課税世帯等へ1世帯当たり10万円給付

### 3. 「日本一のおどりのまち郡上」推進事業

請願1件 (賛成少数で不採択)

インボイス制度実施中止を求める意見書提出の請願

意見書1件 郡上市議会から国に提出 (可決)

原油価格及び物価の急激な高騰に関する対策を求める意見書



### 担当委員会のお知らせ

#### 常任委員会

総務常任委員会となりました。  
<市長公室・総務部・消防本部などに関わります>

#### 特別委員会

広報広聴特別委員会と、  
予算特別委員会となりました。

\* 総務常任委員会と広報広聴特別委員会の2つの委員会で副委員長を拝命しました。  
微力ながら頑張ってお努めます。

田代 まさよ

住所 郡上市白鳥町中西488-1  
携帯 090-5036-3971

fax 0575-84-1835

E-mail mchk2633m@gmail.com



# 6月定例会 私の質問と市の答弁

## 図書館活動と家読(うちどく)について

**質問** 図書館での利用状況や感染対策は

**答弁** 長尾教育次長

年間の貸し出し点数はコロナ禍前の令和元年度は303,206点、コロナ禍1年目の令和2年度は△75,107点、令和3年度は△40,384点と減少している。来館者数もコロナ禍前の令和元年度は101,049人で令和2年度は△32,380人、令和3年度は△19,892人減少している。

感染対策としては入館時の検温と手指消毒、入館記録の提出、館内の換気と消毒、返却された図書の日間の取り置きを行った。

**質問** 子どもの読書活動は、ことばを学び、完成を磨き、創造力をゆたかなものにし、人生をより深く生きる力を身につけるうえで欠くことができない。家読(うちどく)の進捗状況と今後の取り組みは

**答弁** 長尾教育次長

本年1月の実施アンケートによると、家読を「実施している」と回答した園・小中学校の保護者は令和元年度より減少している。「読み聞かせをしていますか」「公共図書館を利用していますか」の間では令和元年度の数値より顕著に下がっている。コロナ禍の影響によるものと考え、家読の重要性の啓発を校長会や学校司書との研修会などで実施したい。家庭教育学級やPTA連合会との連携を深めて啓発したい。

**質問** タブレットの活用そして家読の推進をされることへの教育長の思いは

**答弁** 熊田教育長

1月実施のアンケートから、電子書籍を「利用する」の回答で小学生は35.2%、中学生は54.9%、高校生は58.6%と予想以上に利用が進んでいる。今後公立図書館においてもデジタル化が推進されると考える。家庭でスマホやタブレット使用のルールづくりなど家庭教育としてやっていただくことも大事と思う。家読は積極的に進めたいと考える。タブレットなども活用した近未来の家読の姿をイメージしながら、どの子どもどの家庭も置き去りにしないような家読の取り組みを考えていく。

## 公共施設適正配置計画について

**質問** 公共施設適正配置計画はどのくらいあるのか。現在の進捗状況は

**答弁** 河合市長公室長

再編の対象施設を437施設、延床面積約42.3万㎡。保有の必要性を明確にするよう「設置目的と必要性の明確化」により行う。

進捗状況は地区集会場の譲渡や斎場の廃止、普通財産の譲渡や取り壊しで延床面積を削減した一方、新設や取得で約11,000㎡増加し全体では、施設数が549施設、延床面積が約42.8万㎡。意見を伺うとともに理解をいただきながら成案とし、目標達成に向け取り組む。

**質問** 「高齢者福祉センター」の廃止に伴い、これまで施設を使用していた団体(卓球団体)が行き場を失っている。認知症を抱えている方は進行を防いだり、大切なふれあいの場となっている。市民にとって必要な機能を確保すべく、代わる施設を用意することはできないか。

**答弁** 田口健康福祉部長

卓球団体2団体の活動場所については、市において、新しい活動場所として施設を選定して提案したが、団体が希望される条件とは合わなかった経緯がある。市としては、卓球団体の皆様が今後も継続して活動をいただけるよう応援したいと考えている。出来る限り団体のご希望に沿っていただけるように努める。また、子育てサロン団体もあわせて白鳥庁舎の多機能化という視点も含め高齢者福祉センターに近い場所での新たな活動拠点の提案ができるよう検討を進める。